

分科会①

誰でも参加できるSS T

～立ち上げから現在に至るまでを振り返って～

大塚 成仁

藤田 聡子 青森障害者職業センター

これまで主に精神科の病院・クリニックで、入院患者さんやデイケア通所者を対象にSS Tを行ってきました。最初は入院患者さんが対象でしたが、後半はデイケア勤務ということでデイケアの患者さんに関わることになりました。デイケアでのSS Tは、医療の枠の中のSS Tであり、治療であることを意識してはいましたが、参加された方々が日々困っておられるその場その場の対応をずっとしてきたように思います。困っておられることに直接対応・支援することで、多くの方々がより明るくなり、意欲的になっていく姿をみて、SS Tの効果を実感してきました。

デイケアでも話題にされていた、友達関係、職場での関係、家族との関係での課題やどうにもならない対人不安や苦手意識などは、恐らく通所している患者さんに限ったことではなく、普通に生活している市民の方も抱えておられるのではないかと考え、2018年より弘前の地で「誰でも参加できるSS T」を実施することにしました。開催を当初は二ヶ月に1回（後に毎月）とし順調に実施してはいたのですが、新型コロナの影響でしばらく休まざるを得なくなりました。新型コロナの収束に伴って、2022年4月より再開し現在にいたっています。

実施に当たっては、協同スタッフとそのやり方について話し合いを重ね、「弘前誰でも参加できるSS Tの会」を立ち上げ主催とすることにしました。

本分科会では、我々が行ってきた「誰でも参加できるSS T」の立ち上げから、その経過、実施状況、課題などについて報告し、フロアーからのご意見をいただければと考えています。